

市政を聞く 一般質問

12月定例会の一般質問は、9日、10日の両日行われ、12名の議員が市政各般にわたり、一般質問を行いました。

一般質問の原稿は、各発言議員が作成しています。



杓子 明 議員

一般質問発言通告一覧表

(平成14年第7回12月小浜市議会定例会)

質問者	発言の内容
杓子 明	1. 平成15年度予算編成について 2. 市町村合併について 3. 舞鶴若狭自動車道について 4. 開かれた市役所について
山口 貞夫	1. 小浜小学校建設事業の取り組み方について 2. 市の景気実態と雇用問題について
池尾 正彦	1. 北朝鮮に拉致された地村夫妻家族への支援 2. 学校給食の今後の方向性と対応について 3. 水稲の航空防除について
西本 正俊	1. 「拉致事件」について 2. 「新規学卒者の就職環境」について 3. 「若狭路博2003」について
山本 益弘	1. 上水道水の安全供給について 2. 若狭西街道の進捗と今後について 3. 河川の生育環境の確保について
清水 正信	1. まちづくりと活性策について 2. 少子化対策について
宮崎治宇蔵	1. 住宅改修助成について 2. 乳幼児医療費助成対象の拡大について 3. 介護認定者に対する障害者控除適用について 4. 高額療養費の受領委任制度について
水尾 源二	1. 景気低迷等による就職問題について 2. 消費者からの問合せや悩み事相談について 3. 本市の公営駐車場について
富永 芳夫	1. 地方財政改革の小浜市への影響 2. 情報公開制度について
中村千代子	1. アレルギー性疾患対策について 2. 小浜病院への「女性専用外来」の開設について
石橋 和彦	1. 拉致について
池田 英之	1. 市民参加のまちづくりに関して 2. 平成15年度予算編成方針について 3. 雇用問題について

問① 平成十五年度予算編成方針と課題を伺う。また補助金に關しての一律カットはいかがなものか。

答 食のまちづくりをさらに推進する。財政の健全化には充分配慮する。運営補助については評価システムを活用し、事業の必要性等を検討の上、予算編成を行っている。

問② リーダーシップを発揮し市町村合併に取り組んで欲しい。

答 関係町村に積極的に働きかけ一日も早く合併協議会を立ち上げたい。

問③ 民営化推進委員会最終案を受けて舞鶴若狭自動車道の今後の方針を伺う。また地域の推進状況を伺う。

答 優先順位を上位に位置付け、計画どおり整備されるよう国等に訴えていく。尾崎地区とは測量同意を、府中地区とはインターの構造について協議を重ねている。(十二月中旬に両地区とも同意された。)

問④ 一日部長制度の継続について伺う。

答 今年度も実施し、市民の皆様は役所を理解していただく。



山口 貞夫 議員

問① 一、小浜小学校建設事業の取り組み方について

答 建設推進体制について
年明け早々に、建設検討委員会(仮称)を立上げる。

問② 事業計画見直しについて

答 建設用地すべてを買い上げるのは無理。賃貸も含めて確保を考える。

問① 二、市の景気実態と雇用問題について
答 小浜市が当面している景気の動向について

答 大半の業種・企業で厳しさが市全体に波及し、厳しい状況が継続している。

問② 雇用と失業実態から対策と展望について
答 食のまちづくりを推進する中で食品加工業者の市内進出を期待したい。

問③ 実態と施策が合致しているか。

答 関係条例や支援策など必要な部分については見直しを行いながら充実を図る。



池尾 正彦 議員

問① 一、北朝鮮に拉致された地村夫妻家族への支援対策についての考えを伺う。

答 北朝鮮に残留している子供達の早期帰国への行動は。

問② ブルーリボン運動、市民を挙げた署名活動に取り組む。

答 地村夫妻の就職支援は。

問③ 保志さんには、市嘱託採用を考え、適切な職種を検討中。

答 富貴恵さんへは、本人の意思を確認し、就職先の紹介や情報提供をしていく。

問④ 中学生の子供の日本帰国後の教育面の対応について。

答 小浜市内の中学校への編入を留意している。教科によっては個別学習の実施。日本語の特別指導時間の設定。

二、学校給食の今後の方向性と対

応について問う。

答 自校方式は継続。委託料を払い、調理師派遣の民間委託を考えている。

三、水稲の航空防除について。

答 無人ヘリでの散布面積を増やす方向。



西本 正俊 議員

問① 新規学卒者の就職環境の悪化に伴い進学志向が高まっている。今日の経済状況を鑑み保護者の負担を軽減するための施策が必要と考える。

答 小浜市として奨学金制度があるのでこれを活用していただきたい。また別機関に教育ローンの制度もあるのでこれらを活用していただきたい。

問② 来年に迫った若狭路博2003を成功に導くために「食文化館」の活用と平成十五年当初予算の編成について。

答 来場者に料理や伝統工芸を体験してもらい小浜の特色を十分にアピールする。当初予算について現在査定中であるが特色のある予算編成としたい。

他として、一段の経済対策と行政業務のスピードアップの必要性について理事者を質した。



山本 益弘 議員

問① 上水道水の安全供給のため特に台風等異常時の対策を問う。

答 湯岡水源については十分調査し、安心でおいしい水を供給できるよう改善を図る。

問② 若狭西街道の進捗と今後予定および市道等との取り付け方法を問う。

答 平成十五年度若狭路博のメインイベントに合わせ神宮寺地係から一六二号線まで供用開始する。残りは若狭西三期地区として平成十八年度完成を目指す。西街道と市道農道の交差部分は地元と協議のうえ、勾配、拡幅改良を考慮していく。

問③ 河川の生育環境についてどのような対策を考えているのか。また不動寺頭首工の整備を問う。

答 南川北川は「釣人が選んだ天然アユがのぼる百名川」に認定されており、整備計画の策定にあたっては地域の皆様から

川の特徴や意見を聞き、生育環境の整備を図っていく。不動寺頭首工は魚道調査を行っており専門家の意見も取り入れ平成十五年事業採択をいたただけるよう努力する。



清水 正信 議員

問① 食のまちづくりにおいて、農水産業、加工産業等の振興、交流人口の拡大が必要。そのため品質の向上が最も重要。農業において「土づくり」が大切。その対策は。

答 そのとおりである。各地域に適した「土づくり」の普及を図っている。

問② 地産地消の取り組みについて。

答 保育園、学校において、成果のあがる組織づくりに取り組んでいる。

問③ 若い人たちの未婚率の上昇、晩婚化が著しい。その対策は。

答 四十歳の年齢で男性二十％、女性五％が未婚。他市の例を参考に結婚したい男女の支援策を講じ、少子化に歯止めをかけた。

問② 乳幼児医療費助成の対象範囲拡大の考えは。

答 県に支援を要請するほか、市独自にも段階的に取り組めないか検討する。



宮崎治宇 蔵 議員

問① 住宅改修助成について、この施策は地域経済活性化の緊急対策として極めて有効な施策であると考えるが、実施についての所見を伺う。

答 今回提案した経済対策（民間住宅リフォーム資金借入に対する利子補給）に期待をした。

問② 乳幼児医療費無料化助成対象の拡大について。

答 平成十五年度から四歳まで対象年齢を引き上げる。

問③ 介護認定者に対する障害者控除適用について。

答 平成十四年中所得の確定申告において、障害者控除が適用されるよう対応していく。広報誌やケーブルテレビにより障害者控除対象者認定書の交付制度を周知したい。

問④ 高額療養費の受領委任制度について。

答 申請の簡素化や処理期間の短縮などの利点があり、将来の課題として検討したい。



水尾 源二 議員

問① 景気低迷等による就職問題について

答 製造業の海外進出、不採算企業の撤退、解雇、退職者募集等大半の企業で依然として厳しい状況にある。若狭五市町村商工団体、民間企業、ハローワーク小浜で構成する若狭雇用開発問題研究会では「サマー求人企業説明会」を開催し、地元企業への理解を深め雇用の促進を図っている。

問② 消費者行政について

答 最近特に携帯電話などの情報通信に関するものが多くあり、他に学習機材の販売、融資サービスに関するもの等専門的な知識が必要な相談が多く、嶺南消費生活センターと連携を密にして相談業務に対応する。

問③ 市営駐車場について